

# 日本宗教学会

# 第 80 回学術大会

オンライン開催

会期：2021 年 9 月 6 日(月)～8 日(水)

主催：日本宗教学会第 80 回学術大会実行委員会（関西大学）

オンラインの各会場に参加するためのアクセス情報は、大会参加登録手続きと大会参加費支払い（ともに 8 月 23 日厳守）を完了した会員に、大会実行委員会が、9 月第 1 週に、メールで連絡いたします。

# 「お知らせ」と「お願い」

1. **理事会承認後の発表題目の変更、パネル発表の構成員・発表順の変更は一切認められません。**  
プログラムと同一にしてください。
2. **発表時間は以下のように決められています。時間厳守をお願いします。**
  - ・個人発表 発表 15 分、質問 5 分、計 20 分
  - ・パネル発表 「発表者数×5 分」を質疑応答の時間として確保ください。  
それ以外の時間配分は、パネル運営者にお任せします。
3. 個人発表はグループ内の各発表の間に 5 分間を設けています。この 5 分間を議論の延長などに使うことのないようお願いいたします。
4. 発表の取り消しがあった場合でも、その後の発表は時間を繰り上げることなく、プログラム記載の時間に発表していただきます。
5. 理事会承認後の発表取り消しは原則として認められません。やむを得ぬ事情により発表を辞退せざるを得なくなった場合は、できるだけ速やかに、大会実行委員会に連絡をしてください。
6. **『宗教研究』別冊用要旨について**  
13 頁「『宗教研究』別冊用要旨 作成と提出の注意」に従って作成し、9 月 13 日（月）までに、編集委員会に送信してください。  
パネル発表は、代表者が全員分をとりまとめて、編集委員会に送信してください。

# 大会日程

<b>9月6日（月）</b>	* 開会式	ライブ配信		13：00－13：05
	* 公開シンポジウム	ライブ配信		13：05－16：00
	理事会	オンライン		16：30－18：30
	常務理事会	オンライン		18：30－19：00
<b>9月7日（火）</b>	研究発表（個人）	オンライン	各ミーティング会場	9：00－14：35
	研究発表（パネル）	オンライン	各ミーティング会場	15：00－17：00
	評議員会	オンライン		17：10－18：00
<b>9月8日（水）</b>	研究発表（個人）	オンライン	各ミーティング会場	9：00－14：35
	研究発表（パネル）	オンライン	各ミーティング会場	15：00－17：00
	会員総会	オンライン	ミーティング会場	17：15－18：45

## \* 開会式、公開シンポジウムについて

ライブ配信の形で実施します。視聴するための URL は、9月3日頃、大会HPの「大会実行委員会特設サイト」で告知する予定です。

公開シンポジウムへの質問は、第1講演開始後から14時50分まで、メールにて受け付けます。3頁をご覧ください。

なお、シンポジウムの内容は、録画し、1週間ほどオンデマンド配信で公開する予定です（質疑応答部分の質問者の氏名・所属は公表しません）。

変更があれば、「大会実行委員会特設サイト」にてお知らせしますので、ご確認いただきますようお願い申し上げます。

# 公開シンポジウム「笑いと宗教」

## 趣旨

2020 年は、新型コロナウイルスが猛威を振るい、多くの人々が深刻な打撃を被って、まさに暗い 1 年となりました。今年に入っても先行きは全く予断を許さない状況です。このような現状においてこそ、改めて笑いの力に注目すべきではないでしょうか。明るい話題に乏しい時だからこそ、ユーモアを活用し、心をほぐすことが普段以上に必要になってくるはずです。宗教の伝統において、笑いはしばしば抑圧の対象となってきました。それは笑い（特にユーモア）の持つ、秩序を相対化し、至高の権威すら脅かす「解放の魔力」のようなものが恐れられたからだとと言えます（商人のまち大阪・上方において「お笑い」が発達したのも、「お上」に対する抵抗の意味合いがありました）。さまざまな意味で危機的な状況にある現代世界において、あらゆる枠組みをいったんカオス化して改めてコスモスを再創造する原動力として、（トリックスター的な）笑いやユーモアのポテンシャルに注目したいと思います。

日時 2021 年 9 月 6 日（月）13：05－16：00（開会式 13：00－13：05）

次第	13：05－13：10	趣旨説明	宮本要太郎（関西大学教授）
	13：10－13：55	第 1 講演	柏木 哲夫（淀川キリスト教病院名誉ホスピス長）
	13：55－14：40	第 2 講演	積 徹宗（相愛大学教授）
	14：40－15：00	休憩	
	15：00－16：00	質疑	

**\* 参加者からの質問は、第 1 講演開始後から 14 時 50 分まで、メールにて受け付けます。**

送信先：大会実行委員会事務局 jars80th(at)gmail.com (at)を@に変更してください。

## 登壇者紹介

柏木 哲夫／かしわぎ てつお（淀川キリスト教病院名誉ホスピス長）

1965 年大阪大学医学部卒業。米ワシントン大学に留学。アメリカ精神医学の研修を積む。帰国後淀川キリスト教病院に精神神経科を開設。翌年日本初のホスピスプログラムをスタート。93 年大阪大学人間科学部教授に就任。大阪大学退官後、金城学院大学学長、淀川キリスト教病院理事長、ホスピス財団理事長等歴任。主な著書に『ユーモアを生きる—困難な状況に立ち向かう最高の処方箋』（三輪書店）、『癒しのユーモア—いのちの輝きを支えるケア』（三輪書店）、『柏木哲夫とホスピスのこころ』（春陽堂書店）、『人生 人として生まれ、人として生きる』（いのちのことば社）、『人はなぜ、人生の素晴らしさに気づかないのか？』（中経文庫）など多数。

積 徹宗／しゃく てっしゅう（相愛大学教授）

1961 年生まれ。宗教学者・浄土真宗本願寺派如来寺住職、相愛大学人文学部教授、特定非営利活動法人ライフ代表。専攻は宗教思想・人間学。大阪府立大学大学院人間文化研究科比較文化専攻博士課程修了。その後、如来寺住職の傍ら、兵庫大学生涯福祉学部教授を経て、現職。主な著書に『落語に花咲く仏教 宗教と芸能は共振する』（朝日選書）、『落語でブッダ—落語がわかる 仏教が楽しくなる』（NHK 出版）、『おてらくご 落語の中の浄土真宗』（本願寺出版社）、『名僧のことばでわかる仏教入門』（宝島新書）、『お経で読む仏教』（NHK 出版）など多数。

宮本要太郎／みやもと ようたろう（関西大学教授）

1960 年生まれ。筑波大学大学院で宗教学を専攻。シカゴ大学大学院へ留学し、宗教学の方法論を学ぶ。筑波大学助手を経て、2003 年から関西大学文学部教員。関西大学人権問題研究室室長や「支縁のまちネットワーク」共同代表などを務めている。主著に『聖伝の構造に関する宗教学的的研究—聖徳太子伝を中心に』（大学教育出版）、『語られた教祖—近世・近現代の信仰史』（共著・法蔵館）など。

# meeting room 1

## 9月7日(火)

- |                 |                               |                     |
|-----------------|-------------------------------|---------------------|
| 1. 9:00- 9:20   | 精神世界と日本の福音派—米国大統領選挙の視座から—     | 伊藤耕一郎 (関西大)         |
| 2. 9:25- 9:45   | 哲学としてのダーウィニズムと宗教              | 林 研 (大阪経済法科大)       |
| 3. 9:50-10:10   | ルーミーの神秘思想に見るキリスト教観—「無」の思想を軸に— | 佐野 東生 (龍大)          |
| 4. 10:15-10:35  | ジョン・ヘインズ・ホルムズにおける宗教と政治        | 拓 徹 (阪大)            |
| 5. 10:55-11:15  | ボナヴェントゥラにおけるペルソナの固有性          | 平野和歌子 (龍大)          |
| 6. 11:20-11:40  | 義認から見た正義論—社会性の文脈における—         | 上原 潔 (大阪産業大)        |
| 7. 11:45-12:05  | 台湾の「プロライフ運動」とその展開             | 陳 宣聿 (大谷大)          |
| 8. 12:10-12:30  | コロナ禍の自然災害とリスク社会における宗教         | 稲場 圭信 (阪大)          |
| 9. 13:00-13:20  | 上田閑照における「経験と言葉」—エックハルトの言語行為—  | 下村 真代 (京大)          |
| 10. 13:25-13:45 | リュースブルクにおけるキリスト教的「コモン」の思想     | 菊地 智 (ルーヴェン・カトリック大) |
| 11. 13:50-14:10 | スピノザと聖書—普遍的な教えの後の読書—          | 加藤 喜之 (立教大)         |
| 12. 14:15-14:35 | ワイマール共和制期ドイツの宗教学と宗教運動         | 宮嶋 俊一 (北大)          |

---

### パネル エラノスという交差点—「宗教学」の形成史的再検討—

- 15:00-17:00 オットー・グロースと心理学  
近代日本の民間精神療法における瞑想・ヨーガの流通  
エラノスにおけるヨーガ研究と宗教刷新運動  
鈴木大拙の禅思想史研究における公案論と「超智」・再考

- 代表者：奥山 史亮  
藁科 智恵 (日大)  
栗田 英彦 (佛教大)  
奥山 史亮 (北海道科学大)  
飯島 孝良 (花園大)  
コメンテータ：深澤 英隆 (一橋大)  
司会：奥山 史亮 (北海道科学大)
- 

## 9月8日(水)

- |                 |                               |                    |
|-----------------|-------------------------------|--------------------|
| 1. 9:00- 9:20   | 西洋エソテリシズム研究の近年の動向—日本宗教史からの展望— | 韓 相允 (東北大)         |
| 2. 9:25- 9:45   | ジェイムズ宗教論における経験の神秘と「女性」性       | 堀 雅彦 (北星学園大)       |
| 3. 9:50-10:10   | 平田篤胤とスウェーデンボルグ—科学化する神秘主義—     | 山崎 好裕 (福岡大)        |
| 4. 10:15-10:35  | 公共圏における宗教知の構築—近代ドイツの霊媒裁判を事例に— | 久保田 浩 (明治学院大)      |
| 5. 10:55-11:15  | サードブレイスと宗教—新宗教を中心に—           | 隈元 正樹 (新日本宗教団体連合会) |
| 6. 11:20-11:40  | 対象の創造と美的状態—『美的教育書簡』における対象認識—  | 田口 博子 (白百合女子大)     |
| 7. 11:45-12:05  | ジョイス・ラカン・道元                   | 西村 則昭 (仁愛大)        |
| 8. 12:10-12:30  | 預言者の肖像—宗教者の三類型に照らして—          | 関 一敏 (九大)          |
| 9. 13:00-13:20  | 新プラトン主義の田辺元における受容と「媒介」の問題     | 土井 裕人 (筑波大)        |
| 10. 13:25-13:45 | 西田哲学から世界を見る—パラダイムの転換の必要性—     | 高橋 勝幸              |
| 11. 13:50-14:10 | 応用倫理学における西田哲学の可能性             | 澤井 努 (京大)          |
| 12. 14:15-14:35 | 武内義範の宗教作用論に関する一考察             | 伊原木大祐 (京大)         |

---

### パネル 井筒俊彦の「東洋哲学」前夜

- 15:00-16:40 井筒俊彦の「本質主義」理解—荀子とイブン・ハズムから—  
比較哲学から開かれる井筒俊彦「東洋哲学」の哲学的可能性  
井筒俊彦と東洋—イブン・アラビー思想との出会い—

- 代表者：澤井 真  
仁子 寿晴 (同志社大)  
長岡 徹郎 (京大)  
澤井 真 (天理大)  
コメンテータ：鎌田 繁 (東大)  
司会：澤井 真 (天理大)
-

# meeting room 2

## 9月7日(火)

- |                 |                                |                  |
|-----------------|--------------------------------|------------------|
| 1. 9:00- 9:20   | (発表なし)                         |                  |
| 2. 9:25- 9:45   | ミャンマー国家僧統委員会編『比丘尼の裁定資料』について    | ティッサーナンディー (龍大)  |
| 3. 9:50-10:10   | 現代におけるミャンマー仏教徒の阿羅漢信仰について       | ティンマーウー (龍大)     |
| 4. 10:15-10:35  | チベットの観音信仰ー『王統明鏡史』における六字真言ー     | 佐久間留理子 (大阪観光大)   |
| 5. 10:55-11:15  | キサーゴータミー説話の交錯                  | 備後 翠 (大阪大谷大)     |
| 6. 11:20-11:40  | 平安後期における源信理解の系譜                | 北畠 浄光 (龍大)       |
| 7. 11:45-12:05  | 日蓮門下における「互為主伴」の解釈をめぐる          | 米澤 立晋 (興隆学林専門学校) |
| 8. 12:10-12:30  | 九條武子『金鈴』における仏教思想               | 西 義人 (京都女子大)     |
| 9. 13:00-13:20  | 殷代の神の集会的性質ー「帝」と「下上」についてー       | 田宮 克真 (東大)       |
| 10. 13:25-13:45 | 初期宗教学における「信仰」と「儀礼」ー姉崎正治を中心としてー | 呉 佩遥 (東北大)       |
| 11. 13:50-14:10 | 岩田慶治の宗教論と「離見の見」                | 長谷千代子 (九大)       |
| 12. 14:15-14:35 | 「新神学」と「新仏教」ー明治中期における「宗教」の再解釈ー  | 星野 靖二 (國學院大)     |

---

### パネル 宗教哲学研究から見た宗教概念批判の意義

- 15:00-17:00 宗教の概念と生活の形式ー宗教概念論の理論的背景ー  
網島梁川の宗教体験言説と伝道ー言語ゲーム論による分析ー  
ポストモダンの神義論  
問いとしての宗教ーハイデガーの場合ー

代表者：下田 和宣

下田 和宣 (成城大)

古荘 匡義 (龍大)

根無 一行 (大谷大)

樽田 勇樹 (京大)

コメンテータ：山根 秀介 (舞鶴高専)

司会：下田 和宣 (成城大)

---

## 9月8日(水)

- |                 |                                 |                |
|-----------------|---------------------------------|----------------|
| 1. 9:00- 9:20   | 現代史の「和解と統合」に向けた課題ー京畿道高陽市を事例にー   | 田中 悟 (摂南大)     |
| 2. 9:25- 9:45   | 那覇孔子廟政教分離訴訟の特徴と意味               | 塚田 穂高 (上越教育大)  |
| 3. 9:50-10:10   | ライシテ概念の理論的再検討ー政教分離か世俗主義かそれともー   | 田中 浩喜 (東大)     |
| 4. 10:15-10:35  | 現代フランス社会とカトリック聖職者による性暴力の問題      | 伊達 聖伸 (東大)     |
| 5. 10:55-11:15  | 宗教をめぐる権力構造の変容ー近代エジプトの国会審議の分析ー   | 佐藤 友紀 (東大)     |
| 6. 11:20-11:40  | イスラーム世界における「寛容」のリアルポリティクス       | 高尾賢一郎 (中東調査会)  |
| 7. 11:45-12:05  | バングラデシュのイスラーム主義運動と公教育での宗教の位置づけ  | 外川 昌彦 (東京外国語大) |
| 8. 12:10-12:30  | 国教としてのイスラームと公教育における宗教ーエジプトの例からー | 八木久美子 (東京外国語大) |
| 9. 13:00-13:20  | デューイの道具主義ー観念論対新實在論の相克ー          | 長谷 瑞光          |
| 10. 13:25-13:45 | 離散、翻訳、普遍性ーJ. バトラーと「メシア的世俗主義」ー   | 坪光 生雄 (一橋大)    |
| 11. 13:50-14:10 | アメリカの市民宗教論再考ーキリスト教国論と白人至上主義からー  | 佐藤 清子 (聖心女子大)  |
| 12. 14:15-14:35 | ハンナ・アーレントにとってのユダヤ民族             | 丸山 空大 (東京外国語大) |

---

### パネル 性愛と暴力の神話学

- 15:00-17:00 北米先住民神話にみる性愛と暴力  
日本近世における女の虐殺説話とカミーお菊、お花を中心にー  
同性愛と暴力ー古代エジプトの事例ー  
征服のトラウマとしてのインカリ神話と民衆劇  
ギリシア神話における性愛と暴力

代表者：木村 武史

木村 武史 (筑波大)

南郷 晃子 (神戸大)

深谷 雅嗣 (愛知県立大)

谷口 智子 (愛知県立大)

松村 一男 (和光大)

司会：木村 武史 (筑波大)

---

# meeting room 3

## 9月7日(火)

- 9:00- 9:20
- 9:25- 9:45 (発表なし)
- 9:50-10:10
- 10:15-10:35
  
- 10:55-11:15 近世イギリスにおける諸宗教の比較と他宗教観の形成 河底 佑佳 (東大)
- 11:20-11:40 速水房常に関する一考察 岡本 和真 (皇學館大)
- 11:45-12:05 本居宣長の仏教教養—その学問と仏教思想との関連性— 清田 政秋 (佛教大)
- 12:10-12:30 イスラームにおける夫と妻の離婚権と婚資における男女平等の考察 四戸 潤弥 (同志社大)
  
- 13:00-13:20 19世紀後半フランスオペラの聖書ブーム—マドレーヌを中心に— 笠原真理子 (東大)
- 13:25-13:45 西洋古代末期の宗教表象研究における「生きられた宗教」と感情史 中西 恭子 (東大)
- 13:50-14:10 古代ローマの個人庭園におけるニンフェウムの宗教性 小堀 馨子 (帝京科学大)
- 14:15-14:35 古代メソポタミアのアーシブ文学 細田あや子 (新潟大)

---

### パネル 暦の思想史

- 15:00-17:00 江戸時代の暦と暦注  
天保期の江戸暦問屋と大小暦の統制  
近代の官暦と神社の例祭日  
仏暦の忌日と「日本仏教」

代表者：林 淳  
林 淳 (愛知学院大)  
小田島梨乃 (東大)  
下村 育世 (一橋大)  
岡田 正彦 (天理大)  
コメンテータ：中牧 弘允 (吹田市立博物館)  
司会：林 淳 (愛知学院大)

---

## 9月8日(水)

- 9:00- 9:20 琉球における「殯」の諸相 牛窪 彩絢 (東大)
- 9:25- 9:45 影幀を用いた人霊祭祀について 井上 智勝 (埼玉大)
- 9:50-10:10 古代地中海世界における人身供犠の検討—文字資料を中心に— 岩寄 大悟 (古代オリエント博物館)
- 10:15-10:35 ギルガメシュの「喪の仕事」 渡辺 和子 (東洋英和女学院大)
  
- 10:55-11:15 ゴロアスター教—諸宗教との視点から— 野村 誠 (共愛学園前橋国際大)
- 11:20-11:40 回儒の天人相関思想 丁 小麗 (東大)
- 11:45-12:05 T. リチャードと『妙法蓮華経』 中井 本勝 (立正大)
- 12:10-12:30 20世紀前半スウェーデン宣教師によるモンゴル宣教の歴史的意義 滝澤 克彦 (長崎大)
  
- 13:00-13:20 灌仏会の日中比較研究—その歴史的変遷と現在— 楊 宇洲 (阪大)
- 13:25-13:45 西山派と陰陽師—証空上人から現代へ— 太田 俊明
- 13:50-14:10 大雑書における方位神の解釈 馬場真理子 (東大)
- 14:15-14:35 『簞篋』の形成に関する一考察—戦国期陰陽道の動態— 小池 淳一 (国立歴史民俗)

---

### パネル アメリカで仏教を語る—世紀転換期の日本人仏教者を手がかりに—

- 15:00-16:40 アメリカ禅成立の萌芽—シカゴ万国宗教会議を契機に—  
変容する移民社会と禅布教—世界仏教徒大会と千崎如幻を事例に—  
越境する禅者・佐々木指月の文学的挑戦とその時代

代表者：守屋 友江  
嵩 宣也 (龍大)  
末村 正代 (関西大)  
堀 まどか (大阪市立大)  
司会：守屋 友江 (南山宗教文化研究所)

---

# meeting room 4

## 9月7日(火)

### 【午後】

- |                |                               |                 |
|----------------|-------------------------------|-----------------|
| 1. 13:00-13:20 | 「サウル戴冠」における編集作用—サムエル記上7-12章—  | 塩野谷恭輔(東大)       |
| 2. 13:25-13:45 | 16世紀アガダー集 Ein Yaakov の編集とその意義 | 袁 浩春(東大)        |
| 3. 13:50-14:10 | 初期キリスト教カバラの源泉とその特質について        | 比留間亮平(東洋英和女学院大) |
| 4. 14:15-14:35 | ヨセフ・キムヒ『契約の書』—宗教論争とユダヤ教聖書解釈—  | 志田 雅宏(東大)       |

---

### パネル グリーフと「あいだ」の時空

15:00-17:00 グリーフをめぐるさまざまな「あいだ」性

逝く人と見送る人の「あいだ」で語り合う死と死後

亡き人の存在と不在の「あいだ」をめぐるグリーフ

支援と支援のあいだ—水俣病事件における持続する支援—

代表者：安藤 泰至

安藤 泰至(鳥取大)

高橋 都(日本がんサイバースhipネットワーク)

大河内大博(臨床仏教研究所)

萩原 修子(熊本学園大)

コメンテータ：葛西 賢太(上智大)

司会：安藤 泰至(鳥取大)

---

## 9月8日(水)

- |                 |                                |                |
|-----------------|--------------------------------|----------------|
| 1. 9:00- 9:20   | キリスト教信仰における「個人の主体性」に関する一考察     | 水口 隆司          |
| 2. 9:25- 9:45   | アンセルムスのペルソナ理解                  | 矢内 義顕(早大)      |
| 3. 9:50-10:10   | J. V. アンドレーエにおけるキリスト教結社の構想     | シュルター智子(北大)    |
| 4. 10:15-10:35  | 現代キリスト教の神秘体験事例—主にマリア=シンマの場合—   | 中里 巧(東洋大)      |
| 5. 10:55-11:15  | ラビ・ズンデル・サラントとムサル運動             | 青木 良華(東大)      |
| 6. 11:20-11:40  | 宗教シオニズムの暴力性の源泉—戦争をめぐるラビの言説から—  | 犬塚 悠太(東大)      |
| 7. 11:45-12:05  | 米国改革派ユダヤ教のシオニズム観—祈祷書改訂の事例から—   | 石黒 安里(日本学術振興会) |
| 8. 12:10-12:30  | 現代イスラエルにおける聖書解釈—ベングリオンとブーバー—   | 平岡光太郎(同志社大)    |
| 9. 13:00-13:20  | 19世紀末政府とキリスト教系学校の交渉への合衆国公使館の影響 | 高瀬 航平(東大)      |
| 10. 13:25-13:45 | 大濱徹也の無教会論—キリスト教土着化論の一つの結実として—  | 村松 晋(聖学院大)     |
| 11. 13:50-14:10 | 占領研究における神道指令再考                 | 栗津 賢太(上智大)     |
| 12. 14:15-14:35 | (発表なし)                         |                |

---

### パネル 科学技術に浸透する／される宗教

15:00-17:00 近未来・技術社会における宗教の残滓

仏教から見たビッグデータ社会の問題

現代汎心論のゆくえ

変容する信仰媒体が創造する世界観

ソーシャル・ロボットを活用した宗教文化教育の可能性

代表者：師 茂樹

小原 克博(同志社大)

師 茂樹(花園大)

沖永 宜司(帝京大)

永原 順子(阪大)

石田 友梨(岡山大)

司会：師 茂樹(花園大)

---



# meeting room 5

## 9月7日(火)

### 【午後】

- |                |                               |                 |
|----------------|-------------------------------|-----------------|
| 1. 13:00-13:20 | 「芥川龍之介」の署名入りの和書―柏原祐義著『靈魂の研究』― | 服部 弘瑞           |
| 2. 13:25-13:45 | 平田派国学における産土神コスモロジーの創造         | 増田 友哉 (東北大)     |
| 3. 13:50-14:10 | 平田篤胤の二つの古伝―中国学・インド学との関係から―    | 森 和也 (中村元東方研究所) |
| 4. 14:15-14:35 | 復古神道形成過程における古典認識              | 松本 久史 (國學院大)    |

---

### パネル 実態調査から窺う真宗寺院における新型コロナの影響と課題

- 15:00-16:40 調査の概要と結果  
調査結果の分析から窺う情報化の問題  
各種調査との比較検討分析  
真宗寺院の伝えるべき教え

- 代表者：葛野 洋明  
長岡 岳澄 (中央仏教学院)  
安武 慶哉 (龍大)  
藤丸 智雄 (浄土真宗本願寺派総合研究所)  
葛野 洋明 (龍大)  
司会：葛野 洋明 (龍大)
- 

## 9月8日(水)

- |                 |                              |                     |
|-----------------|------------------------------|---------------------|
| 1. 9:00- 9:20   | 近代における神道の宗教施設                | 藤井 麻央 (東京工業大)       |
| 2. 9:25- 9:45   | 三輪田高房が伝えた鎮魂行事の目的と「治心」        | 新田 恵三 (皇學館大)        |
| 3. 9:50-10:10   | 詩人・溝口白羊から神道学者・溝口駒造へ          | 木村悠之介 (東大)          |
| 4. 10:15-10:35  | 昭和前期の神道と神聖天皇―故阪本是丸氏の業績に学ぶ―   | 島藪 進 (上智大)          |
| 5. 10:55-11:15  | 実行教と「古典」―柴田花守『古語拾遺正訓』を中心に―   | 今井 功一 (戸田市役所)       |
| 6. 11:20-11:40  | 森近運平の農村改革思想と日露戦後期金光教         | 渡辺 順一               |
| 7. 11:45-12:05  | 近代如来教史料にみる公認活動の模索            | 石原 和 (立命館大)         |
| 8. 12:10-12:30  | 昭南神社前史―黒住教の永田弥八郎とマレー・シンガポール― | 大澤 広嗣 (文化庁)         |
| 9. 13:00-13:20  | 幕末～明治期の心霊術・催眠術の流行と「奇術」の出現    | 伊藤 優 (東大)           |
| 10. 13:25-13:45 | 中部地方及びその近県における富士信仰地名         | 大谷 正幸               |
| 11. 13:50-14:10 | 徧無為による『先代旧事本紀大成経』注疏作業の概観     | 佐藤 俊晃 (曹洞宗総合研究センター) |
| 12. 14:15-14:35 | 近世前期における「聖人の道」について           | 井関 大介 (南山宗教文化研究所)   |

---

### パネル コロナ禍の「人生会議」―「生と死」にどう向き合うか―

- 15:00-17:00 「人生会議」をめぐる問題提起  
人生会議は「自律的」な営みか？  
人生会議を在宅医はどう考えているか  
当事者のナラティブから垣間見る人生会議  
終末期・看取りの中で燃え尽きるかつかないかの闘い

- 代表者：冲永 隆子  
冲永 隆子 (帝京大)  
秋葉 峻介 (山梨大)  
井口真紀子 (上智大)  
入澤 仁美 (順天堂大)  
蒔田 栄 (大曲聖書バプテスト教会)  
司会：冲永 隆子 (帝京大)
-

# meeting room 6

9月7日(火)

## 【午後】

- |                |                                |              |
|----------------|--------------------------------|--------------|
| 1. 13:00-13:20 | マインドフルネスと戒                     | 千房りょう輔 (東大)  |
| 2. 13:25-13:45 | 『順正理論』における一眼見説・二眼見説論争          | 那須 円照 (龍大)   |
| 3. 13:50-14:10 | 『マニ・カンブン』における観自在菩薩の六字真言成就儀軌王統流 | 榎殿 伴子 (身延山大) |
| 4. 14:15-14:35 | アティシヤが伝えた金剛瑜伽女について             | 望月 海慧 (身延山大) |

## 国際委員会企画

### JARS-KARS Joint Forum: Toward Post-COVID-19 Networking

15:00-17:00

Convener: FUJIWARA Satoko

Speakers: AHN Shin (Pai Chai Univ.)

KOO Hyung Chan (Seoul National Univ.)

HONDA Aya (Hyogo Univ.)

FUJII Shūhei (Tokyo Kasei Univ.)

Discussant: KAWASE Takaya (Kyoto Prefectural Univ.)

Chair: FUJIWARA Satoko (Univ. of Tokyo)

9月8日(水)

- |                 |                                |                  |
|-----------------|--------------------------------|------------------|
| 1. 9:00- 9:20   | 黒田真洞の『俱舎論玄叙』について—天文学と護法—       | 鷹司 誓榮 (佛教大)      |
| 2. 9:25- 9:45   | 日本の諸清規および関係文献・史料における役職交代について   | 金子 奈央 (中村元東方研究所) |
| 3. 9:50-10:10   | 『瑩山清規』における「楞嚴呪」                | 清水 邦彦 (金沢大)      |
| 4. 10:15-10:35  | 日本中世における尼と尼寺—嵯峨光台尼寺の尼に注目して—    | 松尾 剛次 (山形大)      |
| 5. 10:55-11:15  | 法然と親鸞の光明観                      | 安部 弘得 (龍大)       |
| 6. 11:20-11:40  | 蓮如上人における「弥陀一仏」の考察              | 稲城 蓮恵            |
| 7. 11:45-12:05  | 性に悩む親鸞像の形成—近代日本における歴史研究と文学の相関— | 大澤 絢子 (日本学術振興会)  |
| 8. 12:10-12:30  | 香月院深励の往還二回向論について               | 菱木 政晴            |
| 9. 13:00-13:20  | 草創期における東福寺の宗風について              | 鄭 美景 (花園大)       |
| 10. 13:25-13:45 | 寺院から外に出て行く儀礼の変遷—大雄山最乗寺の開帳—     | 武井 謙悟 (駒大)       |
| 11. 13:50-14:10 | 鎌倉における明治期の居士禅                  | 蓮沼 直應 (筑波大)      |
| 12. 14:15-14:35 | 立正大学所蔵河口慧海将来梵文『入法界品』写本の来歴再考    | 庄司 史生 (立正大)      |

# meeting room 7

9月7日(火)

## 【午後】

- |                |                                |                     |
|----------------|--------------------------------|---------------------|
| 1. 13:00-13:20 | 近代護法論としての「宗史」－西本願寺の「勤王」を手がかりに－ | 高橋 秀慧 (大正大)         |
| 2. 13:25-13:45 | 田中智学の国体論と法華神道                  | 戸田 教敏 (立正大)         |
| 3. 13:50-14:10 | ある宗学者の弁解と不服従－学徒出陣壮行辞の再読－       | 工藤 英勝 (曹洞宗総合研究センター) |
| 4. 14:15-14:35 | 明治初期琉球の「第三次真宗法難事件」に関する史料研究     | 福島 栄寿 (大谷大)         |

9月8日(水)

- |                 |                                |                    |
|-----------------|--------------------------------|--------------------|
| 1. 9:00- 9:20   | 中山理々の「仏教国有運動」と林銑十郎の日本国教大道社について | 坂井田夕起子 (愛知大)       |
| 2. 9:25- 9:45   | 加藤咄堂と雑誌『精神修養』－理想の実現と立憲国の大国民－   | 山口 陽子 (東北大)        |
| 3. 9:50-10:10   | ある二世開教使の議会チャプレン就任をめぐる          | 打本 弘祐 (龍大)         |
| 4. 10:15-10:35  | 近代日本仏教史における大住舜                 | オリオン・クラウタウ (東北大)   |
| 5. 10:55-11:15  | 地藏比丘妙運と八万四千体地藏－明治期の天台律僧の信仰と実践－ | 林 京子               |
| 6. 11:20-11:40  | 木村龍寛のインド体験                     | 川元 恵史 (龍大)         |
| 7. 11:45-12:05  | 創価学会における教義条項の改正をめぐる            | 水谷 進良 (日蓮宗現代宗教研究所) |
| 8. 12:10-12:30  | 戦前期における法華会の思想と展開               | 大西 克明 (創価大)        |
| 9. 13:00-13:20  | 近代日本における体罰と浄土真宗                | 金見 倫吾 (筑紫女学園大)     |
| 10. 13:25-13:45 | 浄土真宗「聖徳太子和讃」の誕生                | 御手洗隆明 (真宗大谷派教学研究所) |
| 11. 13:50-14:10 | 近代日本における仏教福祉の公共性と社会倫理          | 井川 裕寛 (上智大)        |
| 12. 14:15-14:35 | 長松日扇における教化活動－谷川浅七郎への教導を中心に－    | 武田 悟一 (立正大)        |

# meeting room 8

9月7日(火)

## 【午後】

- |                |                                |                |
|----------------|--------------------------------|----------------|
| 1. 13:00-13:20 | 里子養育における宗教性の考察－天理教信仰者の聞き取りから－  | 青木 繁 (東京工業大)   |
| 2. 13:25-13:45 | 神道三穂教会史料にみる神霊託宣の諸相             | 並木 英子 (国際基督教大) |
| 3. 13:50-14:10 | 金光教学における教祖関連資料の研究について          | 長崎 誠人 (姫路大)    |
| 4. 14:15-14:35 | 信者が伝えた教祖－『稿本天理教教祖伝逸話篇』から見る教祖像－ | 堀内みどり (天理大)    |

9月8日(水)

- |                 |                                |                     |
|-----------------|--------------------------------|---------------------|
| 1. 9:00- 9:20   | 宿坊の地域資源化とモダニティの再帰性－信仰と振興のはざまで－ | 和栗 隆史 (大阪府立大)       |
| 2. 9:25- 9:45   | 現代における「観光寺院」用語使用の変遷－新聞記事の分析から－ | 小高 絢子 (東京工業大)       |
| 3. 9:50-10:10   | 観光文化の創造にみる宗教者のフィロソフィー          | 郭 育仁 (鈴鹿大)          |
| 4. 10:15-10:35  | ご霊地の復興をめざして－金光教門前町調査中間報告－      | 猪瀬 優理 (龍大)          |
| 5. 10:55-11:15  | 宗教と認知行動セルフモニタリングに関する研究－臨床事例研究－ | 山崎 洋史 (仙台白百合女子大)    |
| 6. 11:20-11:40  | 物質的宗教論からみるスピリチュアル文化            | ミア・ティッロネン (北大)      |
| 7. 11:45-12:05  | 非組織的宗教と詐欺－法廷で語られる「誠実性」－        | ヤニス・ガイタニディス (千葉大)   |
| 8. 12:10-12:30  | 「3つのよいこと日記」によるスピリチュアリティの涵養     | 伊藤 雅之 (愛知学院大)       |
| 9. 13:00-13:20  | 現代医療における宗教の役割－霊性の観点から－         | 半田 栄一 (中央大)         |
| 10. 13:25-13:45 | 医学の目標と宗教のめざすもの－V. フランクルの観点から－  | 杉岡 良彦 (信貴山病院分院上野病院) |
| 11. 13:50-14:10 | 人工知能による感情認識と宗教的感情について          | 橋本 高志 (筑波大)         |
| 12. 14:15-14:35 | 人工知能・アンドロイドと祈りのメタファー           | 濱田 陽 (帝京大)          |

# meeting room 9

9月7日(火)

## 【午後】

- |                |                               |                      |
|----------------|-------------------------------|----------------------|
| 1. 13:00-13:20 | 移植医療における「命」の概念を中心としたメタファーの分析  | エンリック・ウゲット=カニヤメロ(北大) |
| 2. 13:25-13:45 | ジェンダーと尊厳死—韓国人高齢女性の「死にがい」—     | 淵上 恭子(慶大)            |
| 3. 13:50-14:10 | 「救済」、社会事業、キリスト教—日本MTLによる隔離推進— | 松岡 秀明(東大)            |
| 4. 14:15-14:35 | 障害者福祉の現場で考える権利と尊厳—ラルシュ共同体の事例— | 寺戸 淳子(国際ファッション専門職大)  |

9月8日(水)

- |                 |                                |                     |
|-----------------|--------------------------------|---------------------|
| 1. 9:00-9:20    | コロナ禍における新宗教の治病儀礼               | 道蔦 汐里(東京工業大)        |
| 2. 9:25-9:45    | アフタコロナ時代のニューパラダイム—医療即宗教、宗教即医療— | 馬淵 茂樹(トータルライフ医療会)   |
| 3. 9:50-10:10   | コロナ禍の今、ボッカッチョから学ぶ              | 富田 信隆(駒大)           |
| 4. 10:15-10:35  | 仏教教団が実践する教化活動の脆弱性と強靱性          | 川又 俊則(鈴鹿大)          |
| 5. 10:55-11:15  | 宗教材と景観および文化財—被瞻対象の宗教性と活用保全の再考— | 神居 文彰(平等院ミュージアム鳳翔館) |
| 6. 11:20-11:40  | アマビエ・マスク・大仏—パンデミック下の仏像を巡って—    | 君島 彩子(日本学術振興会)      |
| 7. 11:45-12:05  | 被災地域の祭礼文化にコロナ禍が及ぼす影響           | 黒崎 浩行(國學院大)         |
| 8. 12:10-12:30  | スペイン風邪禍(1918-20)における福島県下の宗教行事  | 弓山 達也(東京工業大)        |
| 9. 13:00-13:20  | 行政が守る死後の尊厳—横須賀市の終活支援の事例から—     | 谷山 昌子(東京工業大)        |
| 10. 13:25-13:45 | カロートと遺骨観—戦後行政と霊園事業者による「指導」—    | 間芝 志保(日本学術振興会)      |
| 11. 13:50-14:10 | 虚偽広告が予見した「お坊さんのいないお葬式(想送式)」の破綻 | 別府 良孝               |
| 12. 14:15-14:35 | 遠隔葬儀中継者に求められる知識と能力             | 瓜生 大輔(東大)           |

# meeting room 10

9月7日(火)

## 【午後】

- |                |   |                                |
|----------------|---|--------------------------------|
| 1. 13:00-13:20 | 宗教を超える紐帯—南インドの異宗教間結婚を事例にして—   | 岡光 信子(中央大)                     |
| 2. 13:25-13:45 | ヒンドゥー聖地と祖先祭祀—『トリスタリーセートゥ』を中心に—  | 虫賀 幹華(日本学術振興会)                 |
| 3. 13:50-14:10 | Dalits and Tribals of India: The Most Vulnerable Groups during COVID-19 | ANTONY Susairaj (Nanzan Univ.) |
| 4. 14:15-14:35 | 財を所有する神像—英領インド期の寺院基金をめぐる法の一元化—  | 田中 鉄也(中京大)                     |

9月8日(水)

- |                 |                                |                      |
|-----------------|--------------------------------|----------------------|
| 1. 9:00-9:20    | (発表なし)                         |                      |
| 2. 9:25-9:45    | イブン・シーナーにおける抽象認識と能動知性          | 宮島 舜(東大)             |
| 3. 9:50-10:10   | 中国イスラーム研究史に関する「三部作」            | アリム・トヘテイ(東北大)        |
| 4. 10:15-10:35  | 井筒「東洋哲学」における意味論的視座とその特徴        | 澤井 義次(天理大)           |
| 5. 10:55-11:15  | 異人、妖術使い、悪魔—他界と悪の宗教人類学—         | 岡本 圭史(東京外国語大)        |
| 6. 11:20-11:40  | 埋葬地から見るスワヒリ農村の家族観—ボンデイ社会の埋葬事例— | 高村美也子(南山大)           |
| 7. 11:45-12:05  | 巡礼の叙述語的世界—その誘惑あるいは「儀礼」—        | 土井 清美(中央学院大)         |
| 8. 12:10-12:30  | 日本占領をめぐるアメリカ応用人類学の動向—宗教理解を中心に— | 井上 大介(創価大)           |
| 9. 13:00-13:20  | パールシー・コミュニティにおける情報提供者について      | 香月 法子(中央大)           |
| 10. 13:25-13:45 | インドネシア(北スマトラ州)メダン都市圏のインド系移民と宗教 | 山下 博司(東北大)           |
| 11. 13:50-14:10 | 現代日本の大学における宗教文化の基礎的データの検討      | 齋藤 崇徳(大学改革支援・学位授与機構) |
| 12. 14:15-14:35 | 虐待・修行・運動—フィールドワーク教育の死角—        | 飯嶋 秀治(九大)            |

# meeting room 11

9月7日(火)

## 【午後】

- |                |                             |                  |
|----------------|-----------------------------|------------------|
| 1. 13:00-13:20 | 南龍口演『八百八狸』にみる憑依と守護          | 斎藤 喬 (南山宗教文化研究所) |
| 2. 13:25-13:45 | 2000年代以降の日本の現代美術における宗教言説    | 稲村めぐみ (東大)       |
| 3. 13:50-14:10 | 現代における怪異と情報                 | 古山 美佳 (國學院大)     |
| 4. 14:15-14:35 | 木曾御嶽講研究の再検討—研究の進展と取り組むべき課題— | 小林奈央子 (愛知学院大)    |

9月8日(水)

- |                 |                              |                     |
|-----------------|------------------------------|---------------------|
| 1. 9:00- 9:20   | (発表なし)                       |                     |
| 2. 9:25- 9:45   | 近世大石寺門流と近衛家—新出史料の紹介を中心に—     | 長倉 信祐 (富士学林)        |
| 3. 9:50-10:10   | 佐渡における法華信徒の落書き               | 望月 真澄 (身延山大)        |
| 4. 10:15-10:35  | 深見要言と『立正安国論説義』               | 木村 中一 (身延山大)        |
| 5. 10:55-11:15  | 『観心本尊抄』にみられる「本尊」の一考察         | 清水 祥華 (立正大)         |
| 6. 11:20-11:40  | 近世初頭日蓮宗教学史の研究—三光無師会をめぐって—    | 有村 憲浩 (立正大)         |
| 7. 11:45-12:05  | 日蓮著『立正安国論』における主人の発言をめぐって     | 矢吹 康英 (立正大)         |
| 8. 12:10-12:30  | 一念三千論と倫理                     | 三輪 是法 (立正大)         |
| 9. 13:00-13:20  | 高齢女性宗教者の物語と家族—沖縄の事例を中心に—     | 後藤 晴子 (南山宗教文化研究所)   |
| 10. 13:25-13:45 | 過疎地域における不活動神社・準不活動神社の現状分析と課題 | 冬月 律 (道徳科学研究所)      |
| 11. 13:50-14:10 | 寺院構成員に関する一考察                 | 相澤 秀生 (鈴鹿大)         |
| 12. 14:15-14:35 | 仏教教団にみる寺院の兼務制度の現状            | 平子 泰弘 (曹洞宗総合研究センター) |

## 『宗教研究』別冊用要旨 作成と提出の注意

### ・発表者

発表を行わなかった場合、9月13日までに送信されなかった場合は、掲載不可となります。  
パネル発表は、代表者が全員分をとりまとめて送信してください。

### ・対面で発表予定であった方で、別冊への要旨の提出をもって発表に代える方

9月13日までに送信されなかった場合は、掲載不可となります。

## ① 作成と提出方法 締切日：9月13日（月）

**送信先：『宗教研究』編集委員会** ja-religion(at)mub.biglobe.ne.jp (at)を@に変えて送信してください

大会HPの「別冊要旨・入力ファイル」からダウンロードした『『宗教研究』95巻別冊要旨・入力ファイル』(Word)に入力し、添付ファイルで送信してください。

**メールの件名と添付ファイルの名前：**別冊要旨 発表者名 例：別冊要旨 鈴木花子

メールを受信した時は、必ず返信を出します。

(受信した順に、添付ファイルを開き、作業を行うため、返信が翌日以降になることがあります)

## ② 提出原稿の書式 規定にそっていない場合は掲載できません

### ・日本語の要旨

縦書き 40字×40行以内（総文字数ではありません） 用紙：A4横

文字サイズ：10.5ポイント 邦文のフォント：MS明朝（ゴシック・太字の使用は不可）

縦書きのため、邦文は原則、漢数字を用いる。常用漢字、現代仮名づかいを用いる。

### ・英語の要旨

横書き 650 words 以内 用紙：A4縦

文字サイズ：10.5ポイント フォント：Century（太字の使用は不可）

### ・日本語の要旨、英語の要旨共通

注記、参考文献一覧は認めない（要旨中に丸括弧で挿入する） 図表等の掲載は不可

入力ファイルのページ設定の変更は不可

母語でない要旨を提出する方は、個人発表は本人の責任で、パネル発表は代表者の責任で、必ず、ネイティブチェックを受けてください。編集委員会は、提出された要旨をそのまま掲載します。

### ・個人発表

日本語による個人発表者の要旨は日本語、英語による個人発表者の要旨は日本語または英語。

英語による個人発表者が日本語の要旨を提出した場合、タイトルと発表者名は英語。

### ・パネル発表

「パネルの主旨とまとめ」「パネルの欧文タイトル」（代表者が執筆）、「発表要旨」（発表者）、「コメント」（コメンテータ）を提出することを原則とする。いずれも40字×40行以内。

外国語による発表者を含まないパネルは、日本語で統一すること。

### ・欧文タイトル

英語、独語の場合は、邦文題目に照らして、ネイティブスピーカーが手を加えることがあります。

『宗教研究』編集委員会

## 日本宗教学会 第 80 回学術大会実行委員会

〒564-8680 大阪府吹田市山手町 3-3-35 関西大学文学部哲学合同研究室内

E-mail : jars80th(at)gmail.com (at)を@に変えて送信してください

HP : <http://jpars.org/conference/>